

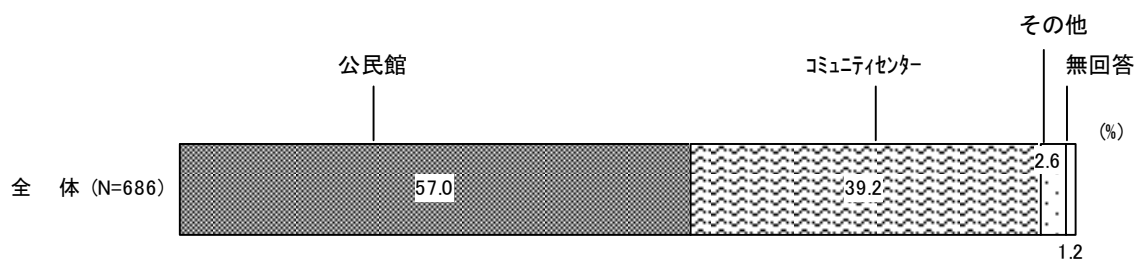
第2章 生涯学習関係団体調査

1 生涯学習関係団体の概要

(1) 活動場所

活動場所については、「公民館」が57.0%、「コミュニティセンター」が39.2%となっている（図表2-1-1）。

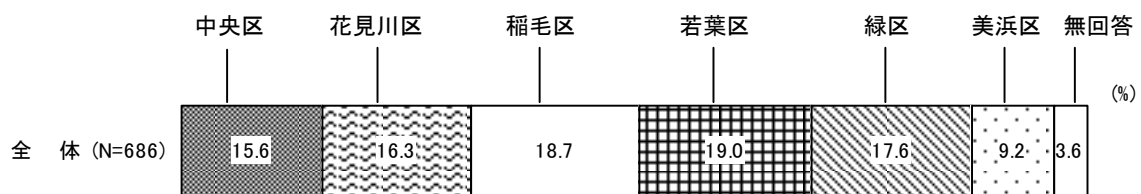
図表2-1-1 活動場所（全体）



(2) 活動地区

活動地区については、「若葉区 (19.0%)」、「稲毛区 (18.7%)」、「緑区 (17.6%)」、「花見川区 (16.3%)」、「中央区 (15.6%)」、「美浜区 (9.2%)」となっており、若葉区、稲毛区が2割弱となっている（図表2-1-2）。

図表2-1-2 活動地区（全体）



(3) 会員数

問1 貴団体の会員数をご記入ください。正確にわからない場合は、おおよそで結構です。

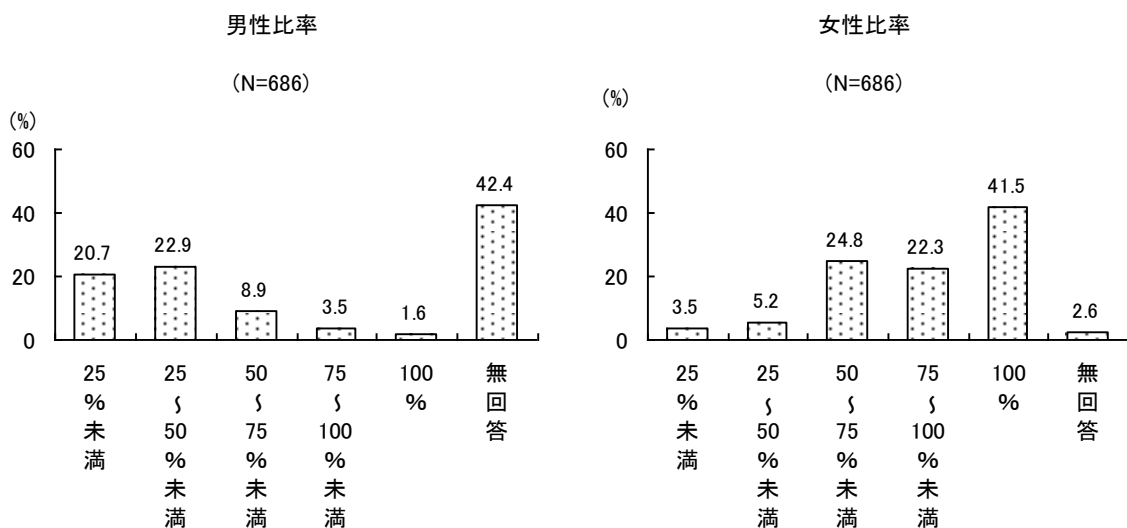
会員数については、平均が16.5人となっている。分布をみると、「6～10人(32.4%)」が約3分の1を占めて最も高く、次いで「11～15人(25.4%)」、「16～20人(15.3%)」となっている(図表2-1-3-1)。

男性比率をみると、「25%未満(22.9%)」が最も高くなっている。男性が50%以上を占める団体は14.0%となっている。女性比率をみると、「100%(41.5%)」が最も高くなっている。女性が50%以上を占める団体は88.6%となっている(図表2-1-3-2)。

図表2-1-3-1 会員数(全体)



図表2-1-3-2 性別比率(全体)



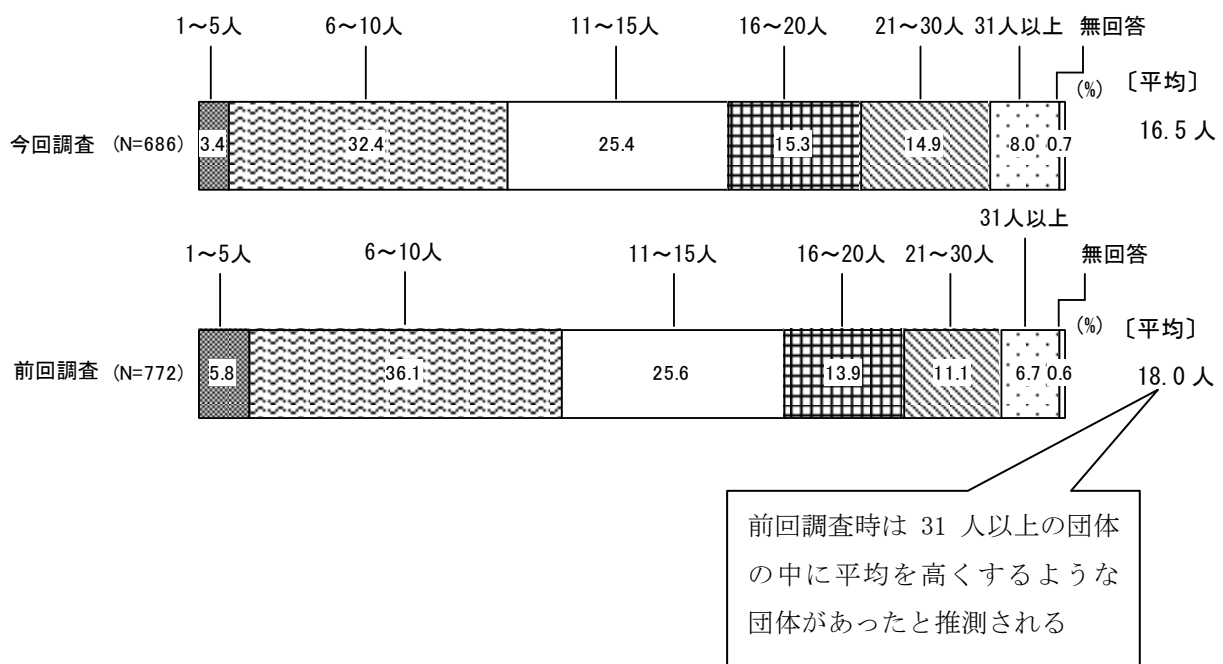
注釈

※「無回答」には0%を含む

会員数について、前回調査(平成 17 年)の結果と比較すると、平均人数は前回より 1.5 人減少している。

また、10 人以下の団体は前回より減少し、21 人以上の団体は増加している。5 年前より、平均人数は減少しているものの、21 人以上の団体の数がふえていることがうかがえる(図表 2-1-3-3)。

図表 2-1-3-3 会員数の推移(全体/今回調査、前回調査)



(4) 主な参加者層

問2 貴団体の主な参加者層はつぎのうちどれにあたりますか。あてはまる番号に3つまで○印をつけてください。

主な参加者層については、「60歳以上女性（80.5%）」が最も高く、次いで「35～59歳女性（47.7%）」、「60歳以上男性（45.2%）」となっている。この3つの参加者層以外は、いずれも1割未満となっている。

活動場所別にみると、コミュニティセンターでは、全ての年代において、男性の参加者層が全体より高くなっている。

活動地区別にみると、緑区では他区より若い参加者層が高くなっている。

会員規模別にみると、規模が大きいほど若い参加層が高くなる傾向がある。

活動分野別にみると、学術・教養では全ての年代において女性の参加者層が全体より低くなっている。健康・スポーツでは「35～59歳以上女性（57.4%）」が全体（47.7%）より高くなっている。育児・教育では34歳未満の参加者が高くなっている（図表2-1-4）。

図表2-1-4 主な参加者層（全体、活動場所別、活動地区別、活動規模別、活動分野別）

		20歳未満 男性	20歳未満 女性	20～34歳 男性	20～34歳 女性	35～59歳 男性	35～59歳 歳女性	60歳以上 男性	60歳以上 女性	無回答
全	体 (N=686)	4.4	6.1	0.9	6.7	7.4	47.7	45.2	80.5	1.7
場活 所動	公民館 (n=391)	3.8	5.1	0.5	4.3	3.3	47.3	43.0	84.1	2.0
	コミュニティセンター (n=269)	5.6	8.2	3.0	9.7	23.0	57.2	62.8	62.1	1.5
活 動 地 区	中央区 (n=107)	2.8	3.7	0.9	4.7	7.5	36.4	36.4	84.1	0.9
	花見川区 (n=112)	3.6	3.6	0.0	6.3	1.8	46.4	44.6	84.8	1.8
	稲毛区 (n=128)	4.7	7.0	0.0	6.3	4.7	52.3	50.8	79.7	3.1
	若葉区 (n=130)	2.3	4.6	0.8	5.4	8.5	38.5	56.9	86.9	0.0
	緑区 (n=121)	9.1	9.9	0.8	10.7	17.4	62.0	43.8	72.7	0.0
	美浜区 (n=63)	3.2	7.9	4.8	6.3	4.8	52.4	34.9	73.0	3.2
会 員 規 模	1～10人 (n=245)	0.4	1.6	0.4	4.9	3.3	43.7	41.6	85.3	0.8
	11～15人 (n=174)	4.6	3.4	0.6	5.7	7.5	59.2	42.5	82.8	1.7
	16～20人 (n=105)	3.8	6.7	0.0	7.6	7.6	43.8	54.3	80.0	2.9
	21人以上 (n=157)	10.2	15.3	2.5	10.2	13.4	44.6	49.0	70.7	2.5
活 動 分 野	趣味・娯楽 (n=468)	2.6	4.7	0.9	5.8	7.1	47.0	45.7	82.5	1.5
	学術・教養 (n=51)	2.0	0.0	0.0	2.0	9.8	43.1	62.7	78.4	5.9
	健康・スポーツ (n=101)	5.0	5.9	1.0	7.9	9.9	57.4	37.6	84.2	0.0
	育児・教育 (n=14)	64.3	71.4	0.0	57.1	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0
	技能・資格取得 (n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	85.7	100.0	0.0
	ボランティア・地域活動 (n=15)	6.7	6.7	6.7	13.3	6.7	46.7	33.3	73.3	6.7

注釈

※『20歳未満』は「15歳未満」と「15～19歳」の計

※『趣味・娯楽』は「趣味・けいこ事」と「家庭生活に役立つ技能」の計

※『学術・教養』は「学術・教養」と「社会問題」と「科学に関すること」の計

※『健康・スポーツ』は「健康づくり・スポーツ」と「健康に関すること」の計

※『技能・資格取得』は「技能・資格取得」と「パソコン・インターネットに関すること」の計

(5) 主な活動分野

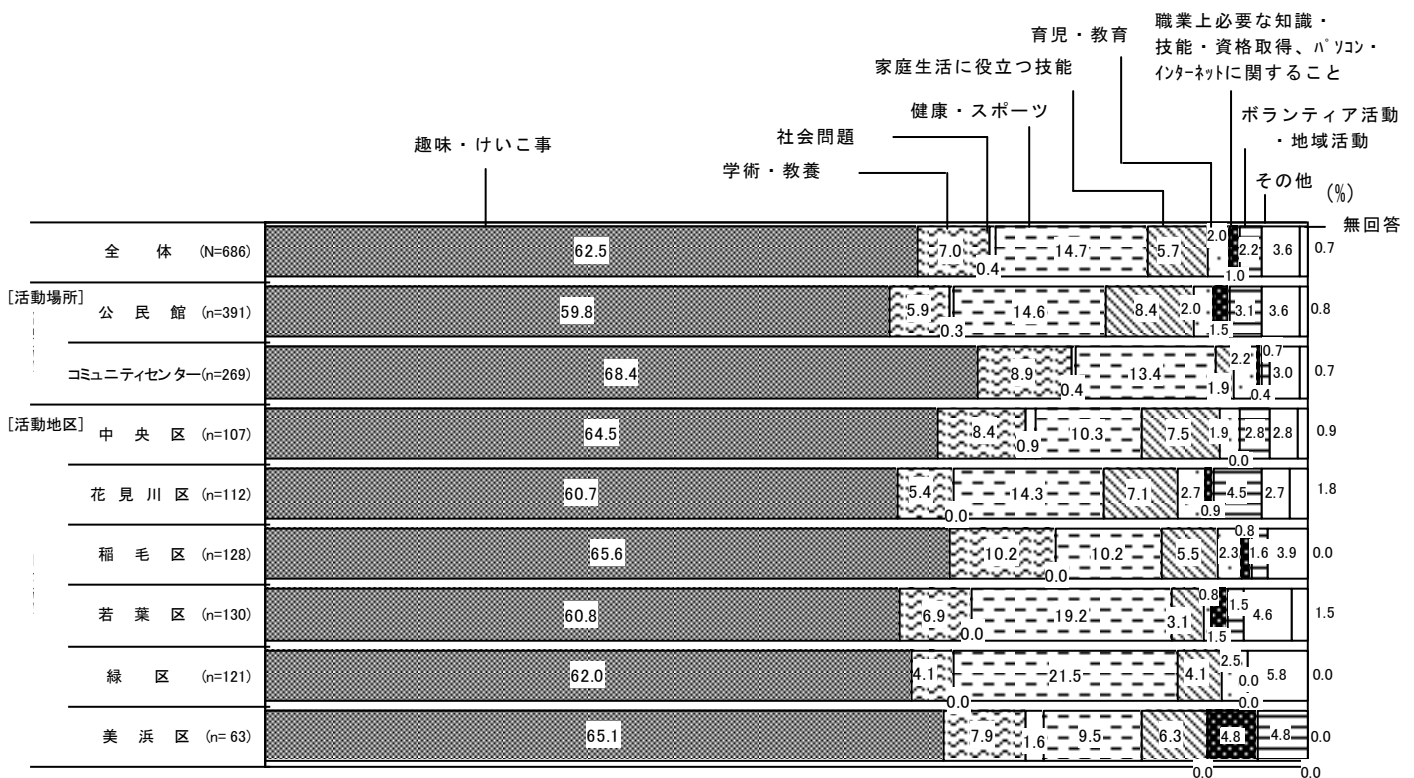
問3 貴団体の主な活動分野は、つぎのうちどれにあたりますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

主な活動分野については、「趣味・けいこ事 (62.5%)」が最も高く、半数以上を占めている。次いで「健康・スポーツ (14.7%)」、「学術・教養 (7.0%)」、「家庭生活に役立つ技能 (5.7%)」となっている。

活動場所別にみると、いずれも全体と同様の傾向となっているが、コミュニティセンターでは「趣味・けいこ事 (68.4%)」が全体 (62.5%) より高くなっている。

活動地区別にみると、いずれも全体と同様の傾向となっているが、若葉区と緑区では「健康・スポーツ」が約2割となっており、全体 (14.7%) より高くなっている。また、稲毛区では「趣味・けいこ事 (65.6%)」、「学術・教養 (10.2%)」が全体より高くなっている。地区によって主な活動分野に違いがあることがうかがえる (図表2-1-5-1)。

図表2-1-5-1 主な活動分野 (全体、活動場所別、活動地区別)

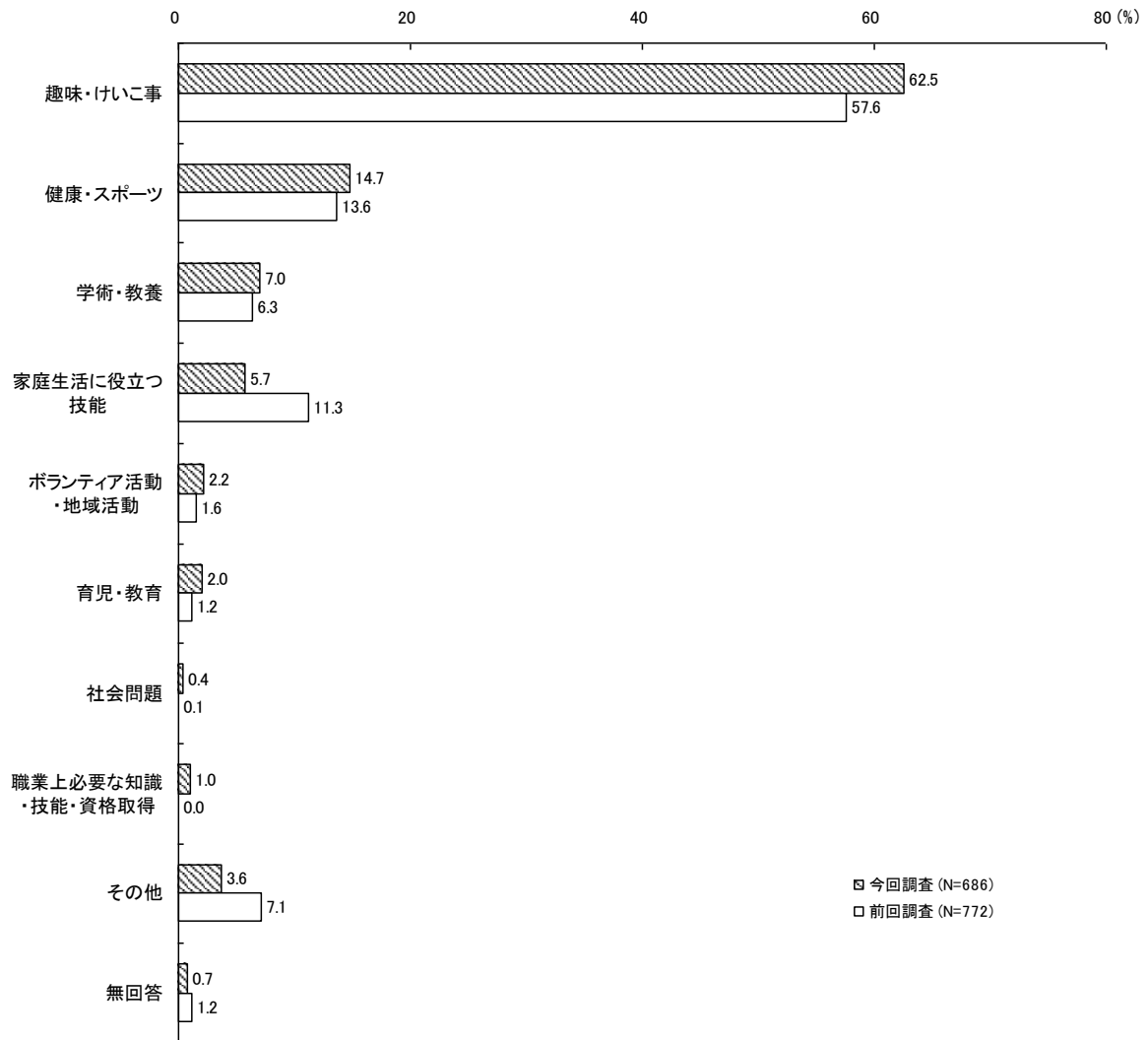


注釈

- ※『健康・スポーツ』は「健康づくり・スポーツ」と「健康に関すること」の計
- ※『職業上必要な知識・技能・資格取得、パソコン・インターネットに関すること』は「職業上必要な知識・技能・資格取得」と「パソコン・インターネットに関すること」の計

主な活動分野について、前回調査(平成 17 年)の結果と比較すると、「趣味・けいこ事」が 4.9 ポイント増加している。一方、「家庭生活に役立つ技能」が 5.6 ポイント減少している。それ以外では、5 年前と比べて、活動分野に大きな変化はみられない(図表 2-1-5-2)。

図表 2-1-5-2 主な活動分野の推移 (全体/今回調査、前回調査)



(6) 活動状況

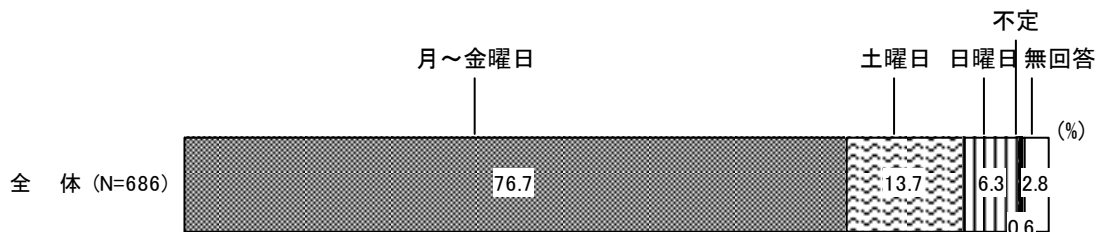
問4 貴団体の a 定期的活動と、b 不定期活動についておたずねします。
 [ア. 主な活動曜日] [イ. 主な活動時間帯] のあてはまる番号にそれぞれ1つ○印をつけてください。また、[ウ. 活動回数] をご記入ください。

【定期的活動】

ア 活動曜日

活動曜日については、「月～金曜日（76.7%）」が最も高く、平日の活動が圧倒的に多くなっている。また、週末の活動は「土曜日（13.7%）」と「日曜日（6.3%）」を合わせて2割となっている（図表2-1-6-1）。

図表2-1-6-1 活動曜日（全体）

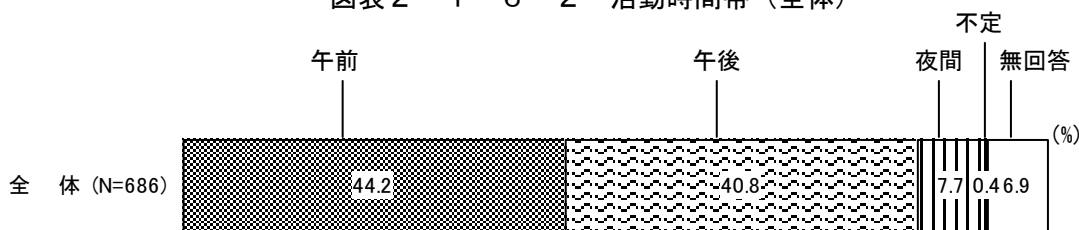


イ 活動時間帯

活動時間帯については、「午前」が44.2%、「午後」が40.8%、「夜間」が7.7%となっており、日中の活動が8割以上を占めている（図表2-1-6-2）。

活動曜日別に活動時間帯をみると、月～金曜日は「午前（47.5%）」、土曜日は「午後（48.9%）」、日曜日は「午後（46.5%）」が全体より高くなっており、週末の活動は午後が多くなっている。また、日曜日は「夜間（14.0%）」の活動が全体（7.7%）より高くなっている（図表2-1-6-3）。

図表2-1-6-2 活動時間帯（全体）



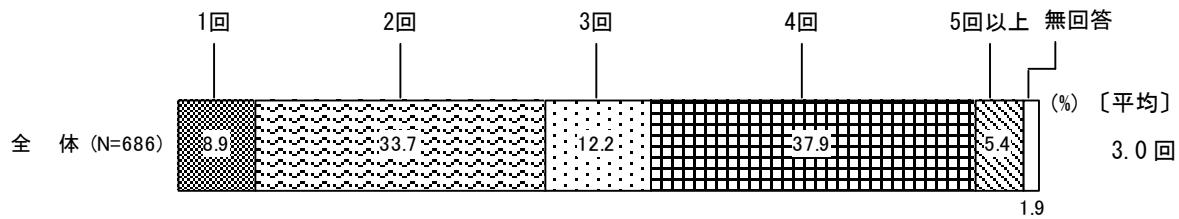
図表2-1-6-3 活動時間帯（活動曜日別）

	（%）		
	午前	午後	夜間
月～金曜日	47.5	39.7	7.6
土曜日	38.3	48.9	6.4
日曜日	32.6	46.5	14.0

ウ 活動回数

活動回数については、月平均 3.0 回となっている。分布をみると、月に「4 回 (37.9%)」が最も高い。次いで「2 回 (33.7%)」、「3 回 (12.2%)」、「1 回 (8.9%)」、「5 回以上 (5.4%)」となっている (図表 2-1-6-4)。

図表 2-1-6-4 月間活動回数 (全体)



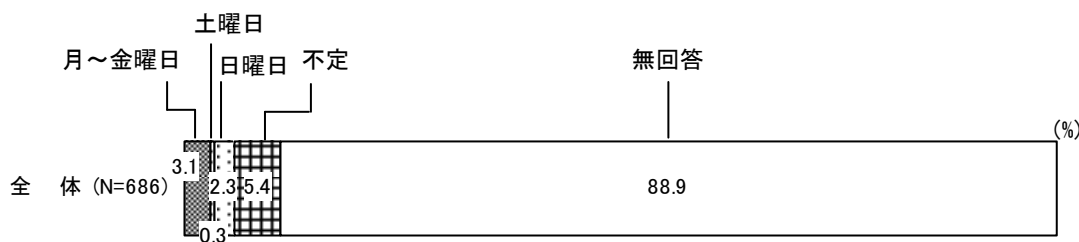
【不定期活動】

多くの団体が決まった日程で計画的に活動しており、不定期に活動した事例が少なかったことから、無回答の割合が高くなったと考えられる。

ア 活動曜日

活動曜日については、「無回答」が 88.9%となっている。それ以外では、「不定」が 5.4%、「月～金曜日」が 3.1%、「日曜日」が 2.3%、「土曜日」が 0.3%となっている (図表 2-1-6-5)。

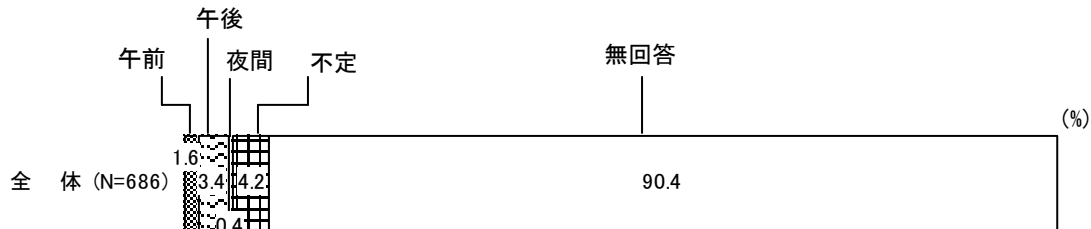
図表 2-1-6-5 活動曜日 (全体)



イ 活動時間帯

活動時間帯については、「無回答」が90.4%となっている。それ以外では、「不定」が4.2%、「午後」が3.4%、「午前」が1.6%、「夜間」が0.4%となっている（図表2-1-6-6）。

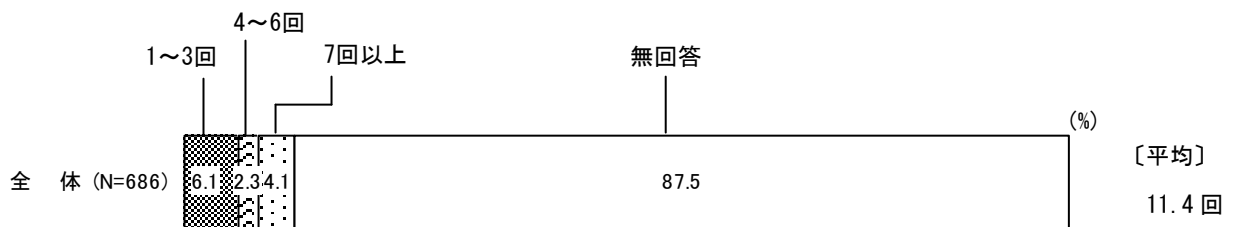
図表2-1-6-6 活動時間帯（全体）



ウ 活動回数

活動回数については、年平均11.4回となっている。分布をみると、「無回答」が87.5%となっている。それ以外では、「1~3回」が6.1%、「7回以上」が4.1%、「4~6回」が2.3%となっている（図表2-1-6-7）。

図表2-1-6-7 年間活動回数（全体）



最多が270回のため平均が高くなっている

2 生涯学習活動の運営

(1) 学習成果の活用状況

問5 貴団体では、会員の学習成果をどのように活用していますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

学習成果の活用状況については、「公民館・地域の文化祭への参加 (61.1%)」が最も高く、6割を占めている。次いで「地域活動 (15.3%)」、「体験教室の実施 (10.6%)」となっている。

活動場所別にみると、公民館では「公民館・地域の文化祭への参加 (74.2%)」が全体 (61.1%) より高くなっている。コミュニティセンターでは「地域活動 (17.5%)」、「区民祭りへの参加 (11.2%)」が全体より高くなっている。

活動分野別にみると、趣味・娯楽では「公民館・地域の文化祭への参加 (69.2%)」が全体 (61.1%) より高くなっている。学術・教養では「体験教室の実施 (15.7%)」、「学校教育支援 (7.8%)」が全体より高くなっている。技能・資格取得では「公民館・地域の文化祭への参加 (85.7%)」が最も高くなっている。ボランティア・地域活動では「公民館・地域の文化祭への参加 (60.0%)」、「地域活動 (53.3%)」が高くなっている。活動分野によって、学習成果の活用状況が異なることがうかがえる (図表2-2-1)。

図表2-2-1 学習成果の活用状況 (全体、活動場所別、活動分野別)

		公民館・地域の文化祭への参加	地域活動	体験教室の実施	区民祭りへの参加	学校教育支援	幼稚園・保育所支援	生涯学習関連施設運営	学校週5日制支援	その他	とくにない	無回答
全体	(N=686)	61.1	15.3	10.6	7.6	3.8	2.0	1.6	0.6	19.7	14.0	8.0
場所別	公民館 (n=391)	74.2	13.8	11.0	4.6	5.4	2.8	1.8	0.8	19.9	8.7	5.9
	コミュニティセンター (n=269)	45.0	17.5	10.8	11.2	1.9	1.1	1.1	0.0	18.6	21.2	10.4
活動分野	趣味・娯楽 (n=468)	69.2	15.2	9.8	9.0	2.6	1.5	1.1	0.2	21.8	8.3	8.1
	学術・教養 (n=51)	21.6	13.7	15.7	0.0	7.8	0.0	2.0	0.0	17.6	33.3	11.8
	健康・スポーツ (n=101)	47.5	6.9	10.9	3.0	2.0	0.0	3.0	0.0	10.9	28.7	8.9
	育児・教育 (n=14)	14.3	21.4	14.3	0.0	7.1	21.4	0.0	0.0	21.4	42.9	0.0
	技能・資格取得 (n=7)	85.7	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
ボランティア・地域活動 (n=15)		60.0	53.3	20.0	6.7	26.7	13.3	6.7	20.0	20.0	6.7	0.0

(2) 運営の問題点

問6 貴団体では、現在どのような問題がありますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

運営の問題点については、「とくにない (52.6%)」が約半数を占めている。それ以外では、「活動場所が確保しにくい」が 12.0%、「他の団体との交流がない」が 6.3%、「活動の成果発表の場が不足している」が 5.7%となっている。

活動場所別にみると、いずれも全体と同様の傾向となっているが、コミュニティセンターでは「活動場所が確保しにくい (17.1%)」が全体 (12.0%) より高くなっている。

活動地区別にみると、いずれも全体と同様の傾向となっているが、中央区では「適切な指導者が確保できない (5.6%)」が全体 (2.0%) より高くなっている。緑区、美浜区では「活動場所が確保しにくい」が全体より高くなっている。

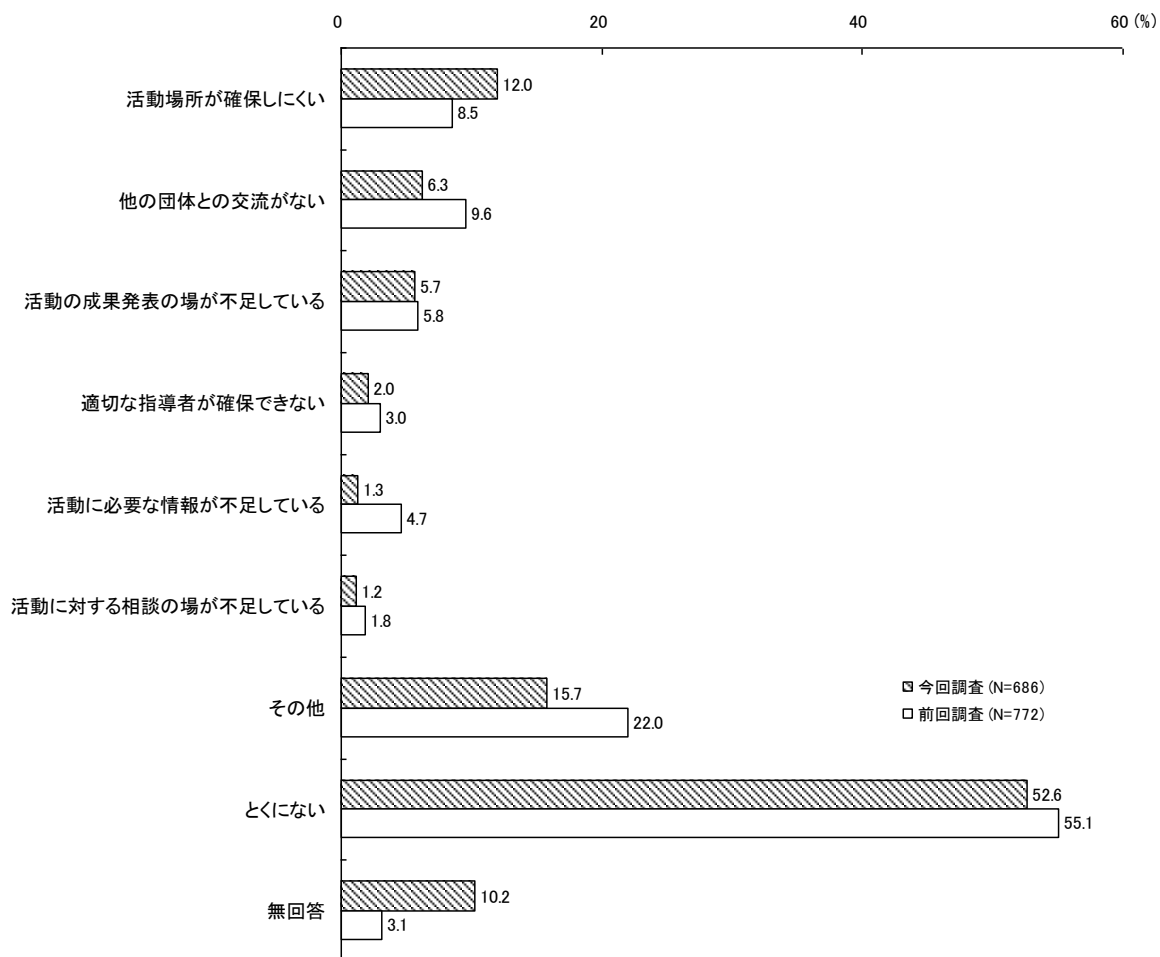
会員規模別にみると、21人以上の団体では「活動場所が確保しにくい (16.6%)」が全体 (12.0%) より高くなっている。活動場所、活動地区、会員規模によっては、活動場所が不足していることがうかがえる (図表2-2-2-1)。

図表2-2-2-1 運営の問題点 (全体、活動場所別、活動地区別、会員規模別)

		(%)	く活動場所が確保しにくい	他の団体との交流がない	活動の成果発表の場が不足している	適切な指導者が確保できない	活動に必要な情報が不足している	活動不足に対する相談の場が不足している	その他	とくにない	無回答
全	体 (N=686)	12.0	6.3	5.7	2.0	1.3	1.2	15.7	52.6	10.2	
場活 所動	公民館 (n=391)	7.7	6.9	5.9	2.8	1.5	0.5	17.6	54.7	8.4	
	コミュニティセンター (n=269)	17.1	5.2	5.9	0.7	1.1	2.2	13.4	50.9	11.9	
活動 地区	中央区 (n=107)	5.6	5.6	8.4	5.6	0.9	0.0	18.7	49.5	9.3	
	花見川区 (n=112)	8.0	7.1	5.4	0.9	0.9	0.0	16.1	59.8	7.1	
	稲毛区 (n=128)	8.6	7.8	3.9	1.6	2.3	1.6	12.5	58.6	10.2	
	若葉区 (n=130)	7.7	5.4	3.8	3.8	1.5	2.3	16.9	55.4	10.8	
	緑区 (n=121)	23.1	7.4	7.4	0.0	0.8	1.7	14.9	41.3	10.7	
	美浜区 (n=63)	22.2	3.2	4.8	0.0	1.6	1.6	14.3	50.8	12.7	
会員 規模	1～10人 (n=245)	8.6	6.5	7.8	2.4	1.6	2.0	16.3	52.7	9.8	
	11～15人 (n=174)	14.4	5.7	4.6	3.4	2.3	1.1	17.2	51.1	8.0	
	16～20人 (n=105)	9.5	8.6	6.7	1.0	1.0	0.0	14.3	50.5	13.3	
	21人以上 (n=157)	16.6	4.5	3.2	0.6	0.0	0.6	14.6	56.1	10.2	

運営の問題点について、前回調査(平成 17 年)の結果と比較すると、「活動場所が確保しにくい」が 3.5 ポイント増加している。一方、「他の団体との交流がない」は 3.3 ポイント、「活動に必要な情報が不足している」は 3.4 ポイント減少している（図表 2-2-2-2）。

図表 2-2-2-2 運営の問題点の推移（全体／今回調査、前回調査）



3 市の施策への要望

(1) 市への要望

問7 貴団体の活動に関連して、千葉市にどのような施策を望みますか。あてはまる番号に2つまで○印をつけてください。

市への要望については、「とくにない (42.3%)」が4割を占めている。それ以外では、「活動場所の提供」が25.8%、「市と団体が連携したイベントの開催」が12.0%、「講座、団体、指導者などの学習情報の提供」が7.3%となっている。

活動場所別にみると、コミュニティセンターでは「活動場所の提供 (34.6%)」が全体 (25.8%) より高くなっている。

活動地区別にみると、中央区では「指導者の養成・研修の支援 (6.5%)」が全体 (3.1%) より高くなっている。緑区では「活動場所の提供 (38.0%)」、「市と団体が連携したイベントの開催 (16.5%)」が全体より高くなっている。美浜区では「活動場所の提供 (34.9%)」が全体 (25.8%) より高くなっている。

会員規模別にみると、11～15人では「市と団体が連携したイベントの開催 (14.9%)」、「講座・団体、指導者などの学習情報の提供 (12.1%)」が全体より高くなっている。また、規模が大きくなるほど「活動場所の提供」が高くなる傾向がある。

活動分野別にみると、学術・教養では「講座、団体、指導者などの学習情報の提供 (17.6%)」が全体 (7.3%) より高くなっている。育児・教育、ボランティア・地域活動では「活動場所の提供」が最も高くなっている。活動場所、活動地区、会員規模、活動分野によって、市への要望が異なることがうかがえる (図表2-3-1-1)。

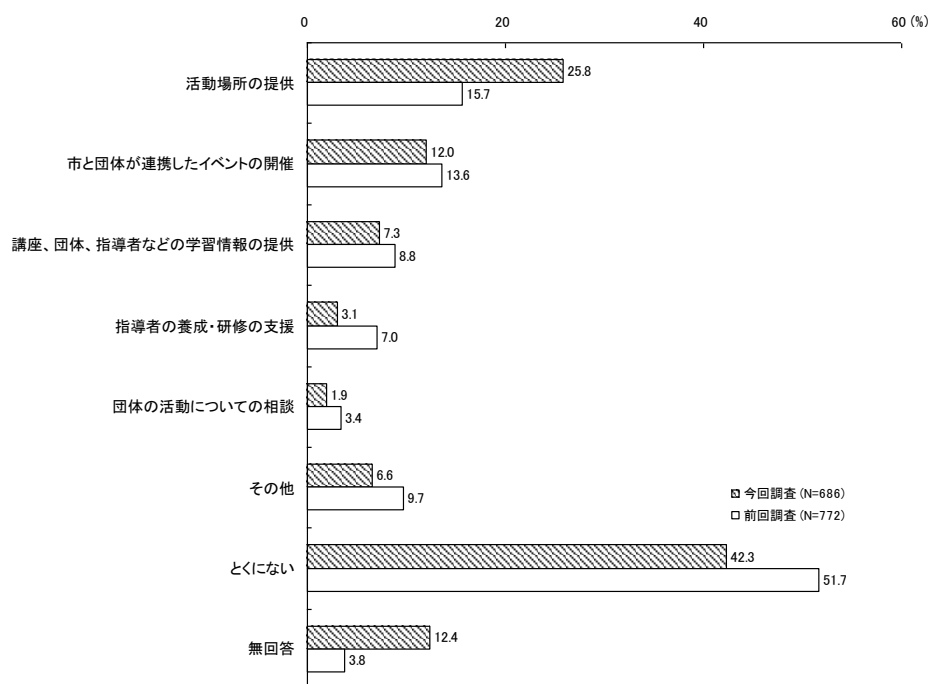
図表 2-3-1-1 市への要望（全体、活動場所別、活動地区別、会員規模別、活動分野別）

(%)

		活動場所の提供	市と団体が連携したイベントの開催	講座、団体、指導者などの学習情報の提供	指導者の養成・研修の支援	団体の活動についての相談	その他	とくにない	無回答
全	体 (N=686)	25.8	12.0	7.3	3.1	1.9	6.6	42.3	12.4
場 活	公民館 (n=391)	19.9	12.0	7.4	4.1	1.8	7.2	47.6	10.2
	コミュニティセンター (n=269)	34.6	11.5	7.1	1.9	2.2	5.9	34.9	14.5
活 動 地 区	中央区 (n=107)	15.9	11.2	6.5	6.5	2.8	6.5	46.7	10.3
	花見川区 (n=112)	25.9	14.3	8.0	0.9	1.8	4.5	46.4	10.7
	稲毛区 (n=128)	22.7	7.0	6.3	2.3	1.6	10.2	42.2	14.8
	若葉区 (n=130)	23.1	10.8	6.9	3.8	3.1	4.6	46.9	11.5
	緑区 (n=121)	38.0	16.5	9.1	3.3	0.8	7.4	31.4	13.2
	美浜区 (n=63)	34.9	9.5	6.3	1.6	1.6	4.8	39.7	11.1
会 員 規 模	1～10人 (n=245)	21.6	11.4	7.8	4.1	3.7	4.1	46.5	12.2
	11～15人 (n=174)	24.7	14.9	12.1	5.2	0.6	7.5	38.5	10.3
	16～20人 (n=105)	26.7	12.4	5.7	1.0	1.0	8.6	38.1	16.2
	21人以上 (n=157)	33.1	9.6	2.5	0.6	1.3	8.3	42.0	12.1
活 動 分 野	趣味・娯楽 (n=468)	25.9	13.0	5.6	2.6	2.1	7.1	41.7	13.7
	学術・教養 (n=51)	17.6	5.9	17.6	0.0	2.0	5.9	52.9	9.8
	健康・スポーツ (n=101)	28.7	12.9	5.0	3.0	1.0	3.0	44.6	9.9
	育児・教育 (n=14)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	42.9	7.1
	技能・資格取得 (n=7)	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3
	ボランティア・地域活動 (n=15)	40.0	6.7	20.0	20.0	0.0	13.3	13.3	0.0

市への要望について、前回調査(平成17年)の結果と比較すると、「活動場所の提供」が10.1ポイント増加している。一方、「指導者の養成・研修の支援」は3.9ポイント減少している。5年前より、活動場所が不足していることがうかがえる(図表2-3-1-2)。

図表 2-3-1-2 市への要望の推移（全体／今回調査、前回調査）



(2) 施設使用料が有料となった場合の活動の継続

問8 公民館などの生涯学習施設使用料が有料となった場合、貴団体の活動はどうなると思いますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

施設使用料が有料となった場合の活動の継続については、「そのまま継続する (35.4%)」が最も高く、次いで「他の無料施設で活動する (12.7%)」、「活動回数を減らし継続する (7.7%)」となっている。また、「その他」の主な意見は「メンバーとの協議による」、「料金による」となっている。

活動地区別にみると、中央区では「継続しない (8.4%)」が全体 (4.1%) より高くなっている。花見川区、稲毛区では「そのまま継続する」が全体より高くなっている。緑区では「他の無料施設で活動する (20.7%)」が全体 (12.7%) より高くなっている。美浜区では「そのまま継続する (38.1%)」、「活動回数を減らし継続する (12.7%)」が全体より高くなっている。

会員規模別にみると、1～10人では「他の無料施設で活動する (15.9%)」が全体 (12.7%) より高くなっている。11～15人、21人以上では「そのまま継続する」が全体 (35.4%) より高くなっている。活動地区、会員規模によって、施設使用料が有料となった場合の活動の継続に違いがあることがうかがえる (図表2-3-2)。

図表2-3-2 施設使用料が有料となった場合の活動の継続
(全体、活動地区別、会員規模別)

		そのまま継続する	他の無料施設で活動する	活動回数を減らし継続する	継続しない	他の団体と統合して活動する	その他	わからない	無回答
全	体 (N=686)	35.4	12.7	7.7	4.1	0.0	9.6	21.1	9.3
活動地区	中央区 (n=107)	35.5	8.4	9.3	8.4	0.0	11.2	19.6	7.5
	花見川区 (n=112)	39.3	10.7	3.6	3.6	0.0	9.8	25.0	8.0
	稲毛区 (n=128)	39.8	10.2	10.2	1.6	0.0	14.1	14.1	10.2
	若葉区 (n=130)	28.5	14.6	6.9	3.8	0.0	8.5	25.4	12.3
	緑区 (n=121)	34.7	20.7	5.8	2.5	0.0	5.0	23.1	8.3
美浜区 (n=63)	38.1	9.5	12.7	4.8	0.0	11.1	17.5	6.3	
会員規模	1～10人 (n=245)	31.0	15.9	7.3	5.3	0.0	9.4	22.9	8.2
	11～15人 (n=174)	38.5	12.6	9.2	4.0	0.0	8.6	18.4	8.6
	16～20人 (n=105)	29.5	9.5	5.7	4.8	0.0	12.4	24.8	13.3
	21人以上 (n=157)	42.7	9.6	8.3	1.9	0.0	9.6	19.1	8.9

4 今後の生涯学習活動における重点課題

(1) 地域の教育力向上への取り組み

問9 青少年をめぐる問題の背景には、地域全体の教育力の低下が指摘されています。このことをふまえて、貴団体では、地域の教育力を向上させるために、どのようなことができますか。つぎのうち、あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

地域の教育力向上への取り組みについては、「異世代の人たちが利用・交流できる活動を企画・運営する (35.6%)」が最も高く、次いで「作品を展示したり、成果を発表する機会や場をふやす (21.6%)」、「行政、NPO、ボランティア、市民等と協働して活動を行う (19.2%)」となっている。

活動分野別にみると、趣味・娯楽では「作品を展示したり、成果を発表する機会をふやす (25.6%)」が全体 (21.6%) より高くなっている。健康・スポーツでは「異世代の人たちが利用・交流できる活動を企画・運営する (42.6%)」が全体 (35.6%) より高くなっている。育児・教育では「異世代の人たちが利用・交流できる活動を企画・運営する (64.3%)」が最も高くなっている。ボランティア・地域活動では「異世代の人たちが利用・交流できる活動を企画・運営する (46.7%)」が最も高くなっている。活動分野によって、地域の教育力を向上させるためにできる取り組みが異なることがうかがえる (図表2-4-1-1)。

図表2-4-1-1 地域の教育力向上への取り組み (全体、活動分野別)

		(%)						
		を用異 企・世 画交代 ・流の 運で人 営きた する活 が動利	や成作 場果を をを ふ発展 や表示 すす するた る機 り、 会	協ン行 働テ政 してイ てア、 活、P 動市O、 を民 行等ボ うとラ	遣習行 、活政 協動や 力へ学 し指校 た導の り者生 すを涯 る派学	そ の 他	と く に な い	無 回 答
全	体 (N=686)	35.6	21.6	19.2	15.6	4.2	25.8	9.9
活 動 分 野	趣味・娯楽 (n=468)	34.8	25.6	19.0	15.4	4.5	23.7	10.5
	学術・教養 (n= 51)	21.6	15.7	13.7	15.7	3.9	37.3	9.8
	健康・スポーツ (n=101)	42.6	5.9	20.8	16.8	5.9	26.7	11.9
	育児・教育 (n= 14)	64.3	7.1	7.1	7.1	0.0	35.7	0.0
	技能・資格取得 (n= 7)	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0
	ボランティア・地域活動 (n= 15)	46.7	13.3	33.3	40.0	0.0	13.3	0.0

地域の教育力向上への取り組みについて、前回調査(平成 17 年)の結果と比較すると、同様の傾向であるが、「異世代の人たちが利用・交流できる活動を企画・運営する」が 7.8 ポイント、「作品を展示したり、成果を発表する機会や場をふやす」が 4.0 ポイント減少している。(図表 2-4-1-2)。

図表 2-4-1-2 地域の教育力向上への取り組みの推移 (全体/今回調査、前回調査)

